

Case : 407

歩行器を手すり代わりに立たせていたら、ブレーキがかかっておらず転びそうになった

場面の説明

入浴後、歩行器を手すり代わりに頼らせて目を離したところ、ブレーキがかかっていなかったため転倒しそうになった



利用シーン

移動

主な利用場所

浴室・脱衣所

介護保険の種目

歩行器

分類コード(CCTA95) 120606(歩行車)

介護テクノロジー

-

二次元バーコード



解説

入浴後で疲れがあったことも考えられます。立たせたまま髪の手入れなどを行うなどのときも同様ですが、たとえブレーキを確認していても歩行器を手すり代わりにすることはやめ、椅子を用意しましょう。やむを得ず立ったままの姿勢でケアをする際には手すりを利用し、また目を離さないなど作業手順を考慮しましょう。

参考要因

人：いつもの手順だったので、ブレーキにも特段の注意を払わなかった

環境：脱衣室が狭く、椅子を用意することができなかった

管理：作業手順を検討したことがなかった